



地域と学校をつなぐボランティア活動

本校は、3つの小学校区からなる中学校です。自治会連合会や公民館など、地域の核となる団体や施設がそれぞれにあり、地域行事の規模や開催方法などが異なるため、3つの校区に個別の対応が求められます。そのため、小学校ではうまく進む地域と学校の連携も、中学校では“距離”が生じてしまうのが現状です。

そこで、コミュニティ・スクールとして地域と学校の連携を推進するために、ボランティア活動を軸とする二つの提案をします。

① 地域部活動「島中CVS部（仮称）」

一つ目は、生徒の皆さんへの提案です。

これまで、学校から地域のボランティア活動の紹介をすると、多くの皆さんが参加を希望し、休日に活動してきました。大勢参加することはよいことですが、その参加者を取りまとめる人がいないため、地域の方も困っているとのこと。そこで、ボランティア活動を行う際の中心的な役割を担う組織として、「島中CVS部（仮称）」を立ち上げることを考えました。

CVSとは、ボランティアで活躍する中学生を表彰する岐阜市の制度です（CVS＝地域ボランティアスタッフ）。島中CVS部に加入した皆さんが、放送で参加者を募ったり、当日の参加者を取りまとめたりするなど、地域の方と参加生徒をつなぐ役割となることを期待しています。

活動は、地域からボランティアの依頼がある時だけ集まり、役割を分担します。詳しい内容は、お昼の放送でお伝えします。

② 教育ボランティアの募集

二つ目は、地域の皆さん、保護者の皆さんへの提案です。

本校に限らず、各中学校が直面する課題は、学校に来られないお子さんの増加です。体調がすぐれないお子さんや、いわゆる不登校のお子さんなど、本校では約30人のお子さんが、それぞれの事情で学校に来ていません。こうしたお子さんは登校しても教室には入りにくいいため、本校では別室で生活ができる「あすなる教室」を用意しています。ここで毎日6～7人の子どもが生活しており、その子たちの生活を見守り、話し相手になっていただける方を募集します。

また、図書館の本の整理・修繕や花壇の手入れなど、校内環境整備にご協力いただける方も募集します。どちらのボランティアも、1～2時間程度の活動です。関心のある方は、学校までご連絡ください。（電話 058-232-4141）

校長 辻 伸之